

30102トンネル建設工事における死傷災害100事例まで（2018年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2018	1	8 ～ 9	当日、ケーソン4ロットの鉄筋圧接工事で、鉄筋工3名、圧接工4名で朝礼、手順確認終了後、作業を開始した。両側にいた縦筋を120tクレーンにて吊り、足場内へ投入した。内足場にて建て掛けて仮置きし、しっかりと固定するための材料を取りに行ったと同時に建て掛けてあった鉄筋が倒れ外足場に接触し、ばらけた鉄筋が被災者に当たって被災した。	36	5	521	10 ～ 29 人
2	2018	1	15 ～ 16	後谷路盤において、切土補強土壁のロックボルト設置作業を行っていた。段取り替え（削孔機械の操作盤をバックホウで移動）のため、削孔機械の操作盤に玉掛け作業を行っていた際、バックホウのブームが何かしらの原因で降下したため、玉掛け作業をしていた作業員の指が削孔機械本体と操作盤の間に挟まれ負傷した。	67	4	142	1～ 9人
3	2018	1	14 ～ 15	加工作業場内にて、原料をスライサーでカット作業中、回転するスライサーの刃に指先を近づけてしまい、人差し指と中指の一部を切断した。	46	4	391	10 ～ 29 人
4	2018	3	15 ～ 16	トンネル掘削において1次吹付完了後、鋼製支保工を建込む際にエレクター吹付機が前進したが、急結剤のホースが伸びきってしまったので一旦後退した。その際、被災者の左膝に支保工下端が触れ左膝をひねった。	47	6	149	30 ～ 49 人
			22	トンネル坑口から475m付近の上半掘削切羽で、鋼製支保工建込作				10

5	2018	3	～ 23	業中、右肩側壁部で肌落ちが発生し、右根足部の建込位置を確認していた被災者が受傷した。	59	4	711	～ 29 人
6	2018	3	～ 13 14	一人で水路トンネルを通り、起点側の工区外へ出て、雪崩に巻き込まれたと推測される。顔面を水没し、上半身を雪が覆う状態で発見された。	59	5	719	30 ～ 49 人
7	2018	3	～ 14 15	発生工搬出用ベルトコンベアの仮設ヤードより150mの場所にて、ベルトコンベアの稼働状況の監視中に、リターンベルトのローラー部の泥をラチェットにて落とそうとした際、ベルトコンベアが稼働中だったため、ラチェットごと右手が巻き込まれ挟まれた。	62	7	224	100 ～ 299 人
8	2018	5	～ 16 17	客がブレーキとアクセルを間違え、右前方に立っていた被災者の右足を挟まれ骨折した。	59	2	523	10 ～ 29 人
9	2018	5	～ 23 24	トンネル坑内で箱抜きの補強鉄板をバックホウでトンネル側壁部に取り付ける作業中、取り付け位置が多少ずれていたため鉄板を掴み位置合わせしようとしたところ、鉄板がずれて右手親指が右手甲部に押され、翌日腫れた。	45	6	212	30 ～ 49 人
10	2018	6	～ 19 20	道路工事のトンネル掘削工において、左側フォアボーリング打設が完了し、発破孔のマーキングをするため切羽面に移動して作業していたところ、上部のコンクリート片が落下し、首から肩にかけて負傷した。	48	4	412	10 ～ 29 人
11	2018	7	～ 15 16	工事現場で砂をスコップで払うときに、腰を痛め動くことができなくなった。	38	19	921	1～ 9人
12	2018	8	～ 10	防音シェルターが何らかの原因で崩壊し、支保工と防音パネルの間	47	5	418	1～

			11	に両足が挟まれた。				9人
13	2018	8	13 ~ 14	手すり上棧にクランプを付け替え後、取り付けたクランプ上の単管を反対側のクランプ部に乗せようとしたところ、持っていた箇所と反対側の単管端部がクランプから外れ落ち、単管の片側が会所内に落下して、作業確認のためパイプの上に座っていた被災者の左手中指第一関節付近に当たり受傷した。	28	4	521	10 ~ 29 人
14	2018	9	13 ~ 14	シールド工本掘進作業にて立坑下のバッテリー車とセグメント台車を連結させるため、バッテリー車をトラバーサーで移動したところ、バッテリー車の連結部がセグメント台車に接触し、セグメント台車が切羽へ逸走した。被災者は、切羽作業員に伝えるべく坑内マシン運転席まで行き退避を喚起したが、台車が接近してきて避けきれず衝突した。	61	6	223	30 ~ 49 人
15	2018	9	20 ~ 21	坑内発破完了後、防音扉外に退避していた2tトラックが、坑内に待機中のずり出し用30tダンプに向かってバックで移動していた際、別の30tダンプに乗り込もうとしていた被災者をはねた。	37	7	221	10 ~ 29 人
16	2018	9	15 ~ 16	バッテリーカーで坑内へセグメントを運搬中、振動で左足がバッテリーカー外側へ外れて、坑内の配管ラックに足を引っ掛け、すぐにブレーキを掛けたが2m程走行して、膝をひねった。	63	7	223	10 ~ 29 人
17	2018	9	13 ~ 14	シールド工本掘進作業にて立坑下のバッテリー車とセグメント台車を連結させるため、バッテリー車をトラバーサーで移動したところ、バッテリー車の連結部がセグメント台車に接触し、セグメント台車が切羽へ逸走した。被災者は、切羽作業員に伝えるべく坑内マシン運転席まで行き退避を喚起したが、台車が接近してきて避けきれず衝突した。	61	6	223	30 ~ 49 人
			20	坑内発破完了後、防音扉外に退避していた2tトラックが、坑内に待				10



24	2018	9	20 ～ 21	坑内発破完了後、防音扉外に退避していた2tトラックが、坑内に待機中のずり出し用30tダンプに向かってバックで移動していた際、別の30tダンプに乗り込もうとしていた被災者をはねた。	37	7	221	～ 29 人
25	2018	9	15 ～ 16	バッテリーカーで坑内へセグメントを運搬中、振動で左足がバッテリーカー外側へ外れて、坑内の配管ラックに足を引っ掛け、すぐにブレーキを掛けたが2m程走行して、膝をひねった。	63	7	223	10 ～ 29 人
26	2018	10	8 ～ 9	会社から社有車でトンネル作業場に向かう途中、居眠り運転で中央ガードケーブルに衝突した。	46	17	231	10 ～ 29 人
27	2018	12	9 ～ 10	シールド現場発進立杭下部にて、杭内の軌条設備（枕木、レール鋼製足場板）を撤去し、地上へ荷揚げする作業を行っていた。吊り上げた際、枕木が互いに引き寄せられナイロンスリングの片方が滑り、荷崩れを起こし、運搬台車に落下した。被災者は昇格階段下に退避していたが、荷崩れした荷のうち、枕木の1本が台車に当たって跳ね飛ばされ、被災者の左足首に激突し、骨折した。	64	4	521	1～ 9人

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで（2018年）](#)に戻る。